

平成26年度地区まちづくり協議会活動報告の内容

番号	内容
	地区まちづくり協議会名
	地区まちづくり協議会の認定日
	地区まちづくり計画の認定日
	地区まちづくり協議会の活動テーマ(認定申請書より)
	今年度(H26.4.1～H27.3.31)の主な活動の内容について (会議やイベントなどの参加人数)
	今年度活動をすすめられた中で、評価できることは どのようなことか。 (よかったこと、成功したこと)
	今年度、活動をすすめられた中で、どういった課題があったか。 それらを解決するためにどのように取り組まれたか。もしくは、 今後、どのように改善したいか。
	まちづくり活動支援制度の活用状況

平成26年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会認定日	計画認定日	協議会の活動テーマ(認定申請書より)	平成26年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	まちづくり活動支援
1 白川地区 まちづくり協議会	H20年 6月26日	未	1) 白川地区の良好な景観形成を目指し、景観の保全と育成を検討する。 2) 白川地区の歴史文化の保全と継承及び観光振興のため、金色院跡などの文化財保護や整備を検討する。 3) 白川地区の交通問題の解決に向けて、道路等のあり方について検討する。 4) 白川地区の特産である茶葉の振興に向けて検討する。 5) 白川地区の福祉の充実に向けて検討する。	6月28日 協議会歓送迎会 (20名) 7月25日 協議会幹事会 (10名) 8月8日 協議会委員委嘱状交付 (15名) 【内 容】 地区まちづくり計画案、実施計画案及び交通安全啓発活動について 8月25日 第一回交通安全啓発活動 (22名) 【内 容】 小学校の通学路を通る車両に安全運転呼びかけ 9月19日 幹事会 (10名) 【内 容】 交通安全啓発活動、地区まちづくり計画案、今後の取り組みについて 11月21日 幹事会協議会、区役員会合同会議 (10名) 【内 容】 計画案の確認、計画案のエリア、文化講演会および先進地視察について 12月22日 協議会会議 (4名) 【内 容】 文化講演会に関して秋津先生と現地打合せ 1月7日 第二回交通安全啓発活動 (21名) 1月17日 新年会 (15名) 2月22日 農業文化講演会 (17名) 【内 容】 宇治市まちづくり専門家の秋津氏(京都大学教授)講演『お茶の「聖地」をつくる 白川地区の農業と暮らしの振興』 3月15日 先進地視察 (20名) 【内 容】 農村のまちづくりの参考として舞鶴市岡田中地区西方寺平を視察。	地区まちづくり計画案の作成。 専門家による講義や先進地視察がまちづくりの参考になった。 交通安全対策に具体的に取り組むことができた。	地区まちづくり計画を実際に進められるか懸念がある。 地区まちづくり計画案の作成という机上の議論だけでなく、交通安全活動など、具体的に活動を進めることで地域住民の理解を得た。	・ 活動費助成 対象金額: 114,320円 助成金:57,000円 内容:視察研修 交通費、視察研修 会場使用料 ・ まちづくり専門家派遣 H27年2月22日 「茶生産をはじめとした山間地における農業振興について」 講師:秋津元輝
2 南陵町地区 まちづくり協議会	H20年 12月8日	H23年 10月14日	よい町を育てゆくことを目的とし安心、安全、良好な住環境を守る為の活動。	5月 空家・空地・駐車場の管理と雑草の刈込等地権者に書面にて依頼 7月～8月 1区～13区の居住者実態調査(区住環境管理委員全員) 【内 容】 町内居住者と会員名簿の整理、今後の活動方針 8月23日 南陵町夏まつり (役員20名) 9月10日 市主催のうじ井戸端会議へ参加 (役員4名) 9月28日 防災研修会 (役員6名) 10月25日 防災訓練 (役員15名) 【内 容】 要援護者避難誘導訓練・その他 11月15日 4役会議 【内 容】 空家・空地の地権者調査と今後の管理体制 1月18日 4役会議 【内 容】 市空家条例施行に伴い、空家所有者(52件)へ条例に関する書類送付 3月1日 役員会 【内 容】 平成26年度活動報告・平成27年度の活動計画・空家条例説明	地区まちづくり計画があることにより市のバックアップが得られ、空家・空地の防災・防犯に取り組んでいる。 市空家条例施行の効果が高い。	昨年と同様に、空地・空家が増加しており、協議会で全て把握できておらず、特に所有者・管理者不明の空地・空家管理が地区まちづくり計画を推進していく上で障害になっている。 市の空家条例施行の地域住民への浸透、連絡先が不明の空地・空家について自治会や近隣住民と協力して連絡先の判明に努めた。 防犯・防火のため見回りを行った。	

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成26年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	まちづくり活動支援
3 南御蔵山地区 まちづくり協議会	H21年 8月14日	未	本協議会は、緑ゆたかで閑静な住環境を維持し、住民の快適で安全な生活を守ることを目標としたまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進をはかることを目的とする。	7月8日 自治会協議 (5名) 【内容】 今後の進め方、自治会への協力要請 7月21日 街区長説明 【内容】 まちづくり協議会の現状説明 9月10日 市主催のうじ井戸端会議へ参加 (1名) 10月5日 自治会協議 10月19日 協議会役員会、協議会総会 (各16名、37名) 【内容】 地区まちづくり計画及びその進め方 新役員の承認、協議会規約の変更 11月16日 協議会役員会 (17名) 【内容】 地区まちづくり計画の進め方、会議の運営、協議会会員資格、自治会との関係 12月10日 宇治市都市計画課との協議 (6名) 【内容】 協議会の状況報告、敷地最低面積規定について協議。 12月21日 役員会 (16名) 【内容】 協議会は自治会の下部組織であることを採決。 2月1日 役員会 (17名) 【内容】 現まちづくり計画案を計画素案とすることを採決。協議会会員は個人単位であることを承認。 2月15日 役員会 (16名) 【内容】 協議会は自治会の委員会であることを確認。役員会代理出席を認めないことを承認。 3月8日 協議会総会 (32名) 【内容】 役員の承認	協議会の運営を市の規程、協議会規約に合致するようにはできた。役員会、総会を誰もが発言できるような雰囲気になった。	自治会が協議会に巻き込まれたくないという立場である。市の対応窓口が協議会と自治会で異なるのが時に障害となっている。対話の中で解決していきたい。	-
4 宇治市北の玄関 街づくり協議会	H21年 9月25日	未	六地蔵地区並びに木幡御蔵山地域の一部の都市機能と生活環境の向上をはかり、安全かつ快適で文化的な街づくりを推進することを目的とする。	5月8日 総会 (11名) 7月10日 定例会 (6名) 9月11日 定例会 (9名) 11月3日 ちびっこみこし祭 (800名) 11月13日 定例会 (11名) 12月27日 歳末防犯パトロール実施 (60名) 1月22日 新年定例会 (13名、府議、市議出席) 1月18日 無料相談会 (9組) 【内容】 全日本不動産協会京都府本部と共催、イトーヨーカドー六地蔵店特設会場で不動産などの無料相談受付 3月12日 定例会	他団体と共催で地元スーパーの協力を得て無料相談という地域貢献ができた。防犯カメラの設置ができた。	道路交通の問題が進展しない。	-

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成26年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	まちづくり活動支援
5 志津川地区まちづくり協議会	H22年 2月8日	未	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑豊かな美しい自然を生かしたまちづくり ・ 生涯住み続けられる住環境をつくるまちづくり ・ 助け合って生きていけるまちづくりを目標としたまちづくりを行うことを目的とする。 	<p>4月12日 クリーン活動 (5名) 【内 容】 区民グランド内の枯木など撤去</p> <p>4月26日 第4回総会 (25名) 【内 容】 特別報告「宇治市防災リーダー養成講習会で学んだこと」木原道照副会長</p> <p>4月27日 クリーン活動 (8名) 【内 容】 バイパス横の山にて倒壊危険性のある枯木を撤去</p> <p>5月 3日 看板設置 (9名) 【内 容】 通称いちご谷水路敷き内の不法占拠に対して撤去要請の看板設置</p> <p>5月22日 山城北土木事務所と遊歩道現地立会い (4名) 5月24日 鳥獣被害防護柵補修作業 (33名) 5月31日 協定内容遵守確認現地調査 (10名) 6月14日 第40回役員会 (22名) 【内 容】 蛸橋下流の遊歩道設置、市助成金申請内容、骨子案作成担当者会議の組織他</p> <p>6月20日 喜撰会館清掃 (8名) 6月28日 避難訓練 (96名)、ハザードマップ机上訓練 (41名) 7月 5日 遊歩道設置・ハザードマップ各担当者部会 (12名) 7月 6日 いちご谷不法占拠に対し撤去作業 (21名) 7月20日 夏のクリーン活動 (71名) 【内 容】 草刈り、ごみ回収、喜撰会館清掃他</p> <p>7月29日 第2回ハザードマップ防災に強いまちづくり第2号編集部会 (6名) 8月 9日 第41回役員会議 (20名) 【内 容】 遊歩道設置部会・第2号編集部会、豪雨災害を忘れない2年目のつどい日程他</p> <p>8月14日 8.14豪雨災害被災2年目のつどい (100名) 8月27日 第3回ハザードマップ防災に強いまちづくり第2号編集部会 (8名) 8月・30日 福祉の團夏祭り 要員協力 (11名) 9月10日 市主催のうじ井戸端会議へ参加 (2名) 9月26日 毎日放送 豪雨災害の取材 (10名) 【内 容】 災害時間伐作業等について取材。10月15日ちちんぷいぷいで放送。</p> <p>10月11日 第42回役員会議 (22名) 【内 容】 遊歩道設置部会・防災に強いまちづくり第2号編集部会</p> <p>10月18日 秋のクリーン活動 (71名)、まち協パーベキュー (・18名) 11月 9日 神社、銘木など区内スタンプラリー (73名) 11月17日 記録誌2号配布と挨拶 (3名) 11月22日 まち協44回 先進地視察 (10名) 【内 容】 先進地視察(奥丹波ブルーベリー農場)</p> <p>12月 3日 農地埋立て廃棄物混入で現地調査 (6名) 【内 容】 府保健所、市環境企画課、市農業委員会と現地立ち合い調査</p> <p>12月13、14日 京都環境フェスタ2014にて災害時写真パネル展示(約11名) 12月20日 第45回役員会議 (22名) 【内 容】 区要望アンケート整理、遊歩道設置部会、マップ編集部会・農地埋立て問題 他</p> <p>12月27日 トラック洗浄装置設置見学 (10名) 【内 容】 新設されたトラック洗浄装置見学</p> <p>1月 4日 トノ町坂川水路ト流十砂災害地調査 (4名)</p>	<p>2012年8月の豪雨災害、2013年9月の台風18号による災害を教訓として、今年度は洪水を想定した防災訓練を経て身近なハザードマップを作成。</p>	<p>不法建築問題、農地の不法な埋立て問題、通称いちご谷水路敷き内の不法占拠問題が発生。</p> <p>地区の課題解決を進めるため、企画立案の荷をみんなで分かち合うことが必要。</p> <p>区や協議会役員の迅速な対応により2件は業者が撤収。農地の不法な埋立て問題は、未解決のため、引き続き行政と協力して解決にむけ粘り強く取り組んでいく。</p> <p>今年度初めて遊歩道設置部会とハザードマップ作成部会を立ち上げた。この経験をさらに発展させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動費助成対象金額：665,951円 助成金：300,000円 内容：協議会ニュース印刷費、災害記録誌印刷費、遊歩道整備事業費、先進地視察交通費

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成26年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	まちづくり活動支援
				<p>【内 容】 坂川水路上流土砂災害地調査 工事復旧箇所崩落確認。 1月14日 農地不法埋め立てで保健所他要請 (4名) 1月17日、24日 区民要望書まとめ部会 (20名) 1月17日 市民と市長の対話ミーティング パネラーに木原道照まち協副会長(副区長) (3名) 2月10日 遊歩道設置部会 (6名)</p> <p>2月14日 第46回役員会議 (22名) 【内 容】 遊歩道設置、寄付金を活用したまち協事業再協議 2月28日 第47回役員会議 (20名) 【内 容】 遊歩道設置、寄付金を活用したまち協事業、区民要望まとめ整理他 3月21日 遊歩道設置・椿植栽 (22名) 【内 容】 遊歩道に椿苗30種類60本を植える</p>			
6 明星町地区 まちづくり協議会	H22年 6月11日	未	明星町地区の住環境を良好に保ち、健康で安心できる、安全で、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進を図ることを目的とする。	<p>4月27日 「明星園地域と仲間たちとのつどい」に協力 (8名) 【内 容】 綿菓子を提供 5月10日 新路線バスの迂回路デモ走行 (30名) 6月 1日 レインボウバスセレモニー(100名) 【内 容】 レインボウバスのラッピング 6月 6日 夜間路上駐車調査(8名) 8月23日 地蔵盆へ出店(5名) 9月10日 市主催のうじ井戸端会議へ参加(3名) 9月21日 第1回まちづくり塾(23名) 【内 容】 講師:杉崎和久氏「引き継がれるまちになるために～郊外住宅地のまちづくり～」 10月13日 第3回秋まつり(200名) 12月23日 第2回餅つき大会(80名)、炭火烧シンポジウム(15名) 1月10日 レインボウバスミュージアム(12名) 【内 容】 路線バス車内に子供の絵を掲載。 2月 1日 スタンプラリーの開催セレモニー(40名)、第2回まちづくり塾(20名) 【内 容】 2,3月に路線バス乗車率向上のためスタンプラリーを実施 2月 1日 第2回まちづくり塾(20名) 【内 容】 講師:杉崎和久氏「明星町の将来の姿は」 3月 1日 第3回まちづくり塾(21名) 【内 容】 講師:杉崎和久氏「明るく住みよい隣同士顔が見える明星町にするために」 3月21日 総会(20名)</p>	宇治市の専門家派遣制度を初めて利用して明星町まちづくり塾を3回開催し、多数の意見交換があり有意義だった。今後レベルアップしていきたい。	新規会員加入がなかった。 新たなイベントを開催した。	・まちづくり専門家派遣 H26年9月21日「郊外住宅地のまちづくりについて」、 H27年2月1日「地域で実現したいアイデアについてのグループワーク」、 H27年3月1日「地域で実現したいアイデアについてのグループワーク」 いずれも講師:杉崎和久